

介護現場での運用に向けたトランスファ・スツールの開発

Development of the Portable Transfer Stool which the Operations in a Care Site is Considered

製品技術部 中島 康博・栗野 晃希・吉成 哲
ものづくり支援センター 前田 大輔

■ 支援の背景

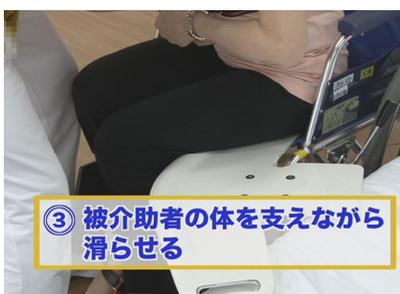
移乗とは、介護中に行われる介助の一つで、患者をベッドから車いす等へ移すことを指します。介助者にとって負担が大きく、介助者の7割が腰痛を抱える原因と言われています。この移乗の負担を軽減するために開発された新たな介護機器が、このイス型移乗介助装置『トランスファスツール』です。標準型車いすとベッドの間を、患者が座ったまま移乗可能です。これまで、東京大学と当事、(株)プラウシップの三者は、このトランスファスツールのコンセプトを提案し、基本機能から開発を進めてきました。今年度は製品化のため、介護現場での運用を踏まえた機能強化を検討し、最終的な試作開発を行いました。

■ 支援の要点

1. スツール全体の強度アップ
2. 介護現場における運搬性の向上
3. 使いやすさなどを含めたデザイン



トランスファスツール



使用例（ビデオを作成）



スツールの強度試験

■ 支援の成果

1. 全体の強度アップを図り、ボード定格体重 130kgf 以上を実現しました。
2. 現場での使いやすさや安全性に配慮したデザインの改良を施しました。ボードの設置位置を誘導するガイドや、軽快で安定性の高い運搬用キャスタを配置しました。
3. 近日中に介護現場での運用試験を終え、製品化する予定です。
4. 本製品について、特許を取得しました（特許第5142693号）。

(株)プラウシップ 札幌市白石区北郷4条4丁目20-17 Tel. 011-875-5191
東京大学、高橋尚基デザイン事務所